


決算説明資料

(平成27年3月期)

 株式会社 木曾路
平成27年5月20日

目次

第1部 決算説明	ページ	第2部 会社説明	ページ
決算ハイライト	4P	会社概要	16P
外食業界と当社の概況	5P	業態説明及び店舗配置	17P
設備投資と店舗異動	6P	木曽路の歴史	18P
営業の概況	7P	株式情報	19P～20P
経営理念とその展開	8P	利益還元について	21P
足元の業績推移について	9P	株主優待券のご案内	22P
中期的経営方針	10P～11P	株主メモ	23P
業績の推移	12P～14P		
		ご参考資料(別紙)	
		決算説明参考資料 ～四半期財務データ～	



第1部 決算説明

決算ハイライト

(単位:百万円、%)

	平成27年3月期 実績						平成28年3月期 予想					
	上期	前期比	下期	前期比	通期	前期比	上期	前期比	下期	前期比	通期	前期比
【経営成績】												
売上高	20,219	99.43	23,211	91.43	43,430	94.99	19,700	97.43	24,300	104.69	44,000	101.31
営業利益	-999	—	1,233	57.01	234	16.87	-1,280	—	1,480	119.96	200	85.47
経常利益	-972	—	1,248	57.81	275	19.37	-1,260	—	1,515	121.38	255	92.72
当期純利益	-871	—	270	22.15	-601	—	-1,020	—	760	281.33	-260	—
1株当り当期純利益(円)	-33.73	—	10.46	—	-23.27	—	-39.48	—	29.42	18.96	-10.06	—
自己資本当期純利益率	-5.88	-1.73	1.82	-6.36	-2.02	-4.07	-7.05	-1.18	5.20	3.39	-0.89	1.13
総資産経常利益率	-5.09	-1.27	6.46	-4.54	0.71	-2.91	-6.78	-1.69	8.04	1.58	0.68	-0.04
売上高営業利益率	-4.94	-1.14	5.32	-3.21	0.54	-2.50	-6.50	-1.56	6.09	0.78	0.45	-0.09
【財政状態】												
総資産	37,318	99.50	38,213	97.77	38,213	97.77	36,173	96.93	37,162	97.25	37,162	97.25
純資産	29,315	101.36	29,522	98.41	29,522	98.41	28,322	96.61	28,901	97.90	28,901	97.90
自己資本比率	78.56	1.44	77.26	0.50	77.26	0.50	78.30	-0.26	77.77	0.51	77.77	0.51
1株当り純資産(円)	1,134.63	15.29	1,142.64	-18.44	1,142.64	-18.44	1,096.20	-38.43	1,118.61	-24.03	1,118.61	-24.03
【配当の状況】												
1株当り配当金(円)	7.00	0.00	7.00	0.00	14.00	0.00	7.00	0.00	7.00	0.00	14.00	0.00
【その他の経営指標】												
売上高経常利益率	-4.81	-1.20	5.38	-3.13	0.64	-2.48	-6.40	-1.59	6.23	0.86	0.58	-0.06
売上高当期純利益率	-4.31	-1.32	1.16	-3.64	-1.38	-2.72	-5.18	-0.87	3.13	1.96	-0.59	0.79
総資産回転率(回/年)	1.06	0.00	1.20	-0.09	1.12	-0.04	1.06	0.00	1.29	0.09	1.17	0.04
総資産当期純利益率	-4.56	-1.41	1.40	-4.81	-1.56	-3.12	-5.48	-0.92	4.03	2.64	-0.69	0.87
発行済株式数(千株)	25,837	99.99	25,837	100.00	25,837	100.00	25,837	100.00	25,837	100.00	25,837	100.00
純資産配当率(年率)	1.23	-0.02	1.23	0.02	1.23	0.02	1.28	0.04	1.25	0.03	1.25	0.03
設備投資	689	91.04	464	72.14	1,154	82.35	607	88.00	1,213	260.87	1,820	157.61
期末店舗数(店)	170	98.84	169	100.00	169	100.00	172	101.18	175	103.55	175	103.55

- 発行済み株式数は自己株式数を控除してあります。
- 利益率等の比率及び1株当り指標の前年比は増減ポイントで表示してあります。
- 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



外食業界と当社の概況

当事業年度におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和により企業収益や雇用環境の改善など明るい兆しがみられました。その一方で消費税率引上げ以降個人消費の回復に時間を要するなか、先行する物価上昇に伴う実質所得の低下や海外経済動向など依然先行きは不透明な状況で推移しました。

外食業界におきましては、期初、消費税率引上げの影響は総じて限定的であったものの、夏場の天候不順や円安の影響による原材料価格の上昇、人材の確保、異業種との競争など依然として厳しい経営環境で推移しました。

このような経営環境の中で当社は、1店舗の新規出店、4店舗の改装、1店舗の業態転換(素材屋からじゃんじゃん亭)、1店舗の退店を実施し、その結果、当事業年度末の店舗数は169店舗となりました。

営業面では、旬の料理の提供やお客様ニーズに合わせたメニューの投入など料理・サービスの充実に努めるとともに、季節毎のイベントを中心に販売促進活動を実施した結果、消費税率引上げから直接的に受ける大きな影響もなく、既存店において増収基調で推移しておりました。しかしながら、昨年8月に発覚した一部の店舗におけるメニュー表示と異なった食材使用の問題(以下、メニュー不正表示問題と表現します。)が大きく影響し、売上高が前事業年度と比べ5.0%の減少となりました。

費用面では、一部の食材の値上がりや厳しい採用環境のなか人件費の増加並びに店舗改装、設備の更新を政策的に進めたため修繕費が増加しました。また、メニュー不正表示問題への直接的な対策費用として64百万円を計上しました。

設備投資と店舗異動

(1) 設備投資(実績・見込)

(単位:百万円、%)

	平成26年度 実績		平成27年度 計画	
	金額	前期比	金額	前期比
設備投資額 計	1,154	82.4	1,820	157.6
新設店	181	25.4	900	496.7
改築・改装	851	182.5	680	79.8
情報システム・工場	121	54.6	240	196.8
減価償却費	1,370	96.7	1,220	89.0

(2) 店舗異動(実績・見込)

(単位:店)

	平成26年度(実績)				平成27年度(通期計画)			
	新設	改築/改装	業態転換	退店	新設	改築/改装	業態転換	退店
木曾路		2			+3	7		
素材屋			(▲1)					
鈴のれん								
とりかく					+1			
じゃんじゃん亭		2	+1	▲1	+2	2		
ウノ	+1							
合計	+1	4	1	▲1	+6	9	0	0

➤ 改築・改装は営業休業を伴う店舗数

営業の概況

(1) 部門別売上高(実績・計画)

(単位:百万円、%)

	平成26年度(実績)			平成27年度(計画)		
	金額	前期比	同左既存店	金額	前期比	同左既存店
木曽路	36,357	94.9	95.2	36,600	100.7	100.1
素材屋	2,733	83.0	97.3	2,650	97.0	101.4
鈴のれん	1,425	97.7	97.7	1,430	100.4	100.4
とりかく	1,060	102.2	102.2	1,105	104.2	100.6
じゃんじゃん亭	1,030	108.3	106.7	1,340	130.1	102.3
ウノ	739	131.9	89.9	790	106.9	100.3
その他	83	95.4	—	85	102.4	—
合計	43,430	95.0	95.6	44,000	101.3	100.3

- 木曽路
 - ・ 旗艦店である「瓦町店」の全面改装を実施
 - ・ 季節ごとのイベント実施と幅広いお客様ニーズに合わせたメニューの開発
 - ・ メニュー不正表示問題・しゃぶしゃぶ祭り中止の影響等で減収
- 素材屋
 - ・ 串焼きメニュー、名古屋コーチン料理、旬メニューの拡販
 - ・ 一升瓶焼酎のお値打ち販売、ドリンク平日限定フェア
 - ・ 既存店減収、前期不採算店の撤退で部門全体でも減収
- 鈴のれん
 - ・ 季節メニューの拡販やQSC向上による営業体制の強化
 - ・ 部門全体、既存店共に減収、大阪地区の業績不振
- とりかく
 - ・ 歓送迎会・忘年会などの宴会メニューや旬の一品料理の充実
 - ・ 部門全体、既存店共に増収
- じゃんじゃん亭
 - ・ 食べ放題の拡販、学生イベント等に合わせた予約獲得活動の強化
 - ・ 部門全体、既存店共に増収、タッチパネル注文システム導入
- ウノ
 - ・ 豊富な種類のワインや季節フェアメニュー・パーティーコースの拡販
 - ・ 既存店減収、新設店の影響により部門全体で増収



経営理念とその展開

経営理念

我が社は外食事業を通じて社会に貢献します
＝よこびの食文化の創造＝
①お客様の感動が私たちの喜びです
②日本一質の高い外食企業を目指します

経営信条

一.我々はたえず「サービス精神」に徹し、お客様の利益を図ろう。
一.我々の生活を安定させるため、常に前向きな姿勢で企業に貢献しよう。
一.我々はたえず良き社会人、良き家庭人であることを自覚しよう。

行動憲章(前文要旨)

我が社は「よこびの食文化の創造」と「日本文化の伝承」を通じて企業価値を高め、社会に貢献していくことを使命とします。
この使命を全うするため、社員全員が人権を尊重し、法令・規定を遵守するとともに、社会的良識をもって、自主的に社業を遂行します。

基本コンセプト

1. 上質な食材を使う
2. 商品に他店にない特長を出す
3. 良いサービスを忘れない
4. 落ち着ける店舗をつくる
5. 手頃で安心できる値段にする

社会・経済環境

1. 人口減少・高齢化・安全安心指向
2. 財政再建・資源制約
3. 国際化の進展

経営ビジョン

- 業容の拡充と社会的貢献
1. 事業基盤の着実な拡充
 2. 高品位の料理・サービスの創造
 3. 人財の育成と資源の有効活用

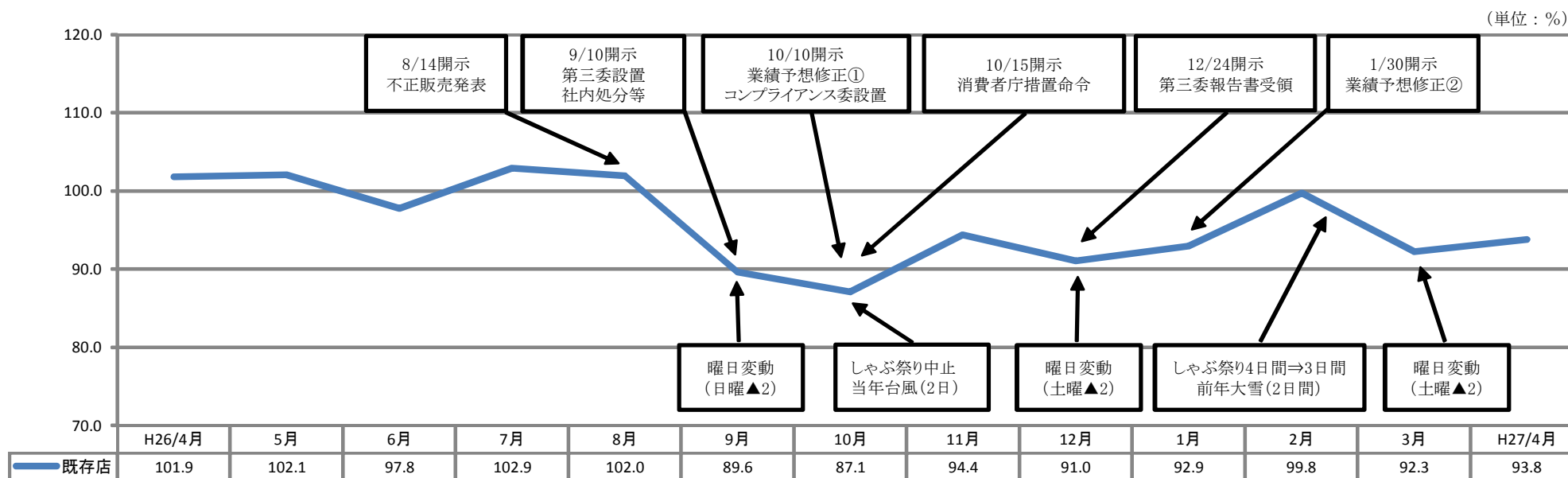
経営課題

1. コンプライアンス強化と経営理念の実践
・コンプライアンス意識の向上、顧客起点営業
2. 人材の育成
・教育プログラムの再構築、専門技能強化
3. 収益基盤の拡充
・既存店の業績回復、ビジネスモデル再構築

外食産業環境

1. 外食市場縮小・競争激化
2. 人材の確保・コスト上昇圧力
3. 和食ブーム・インバウンド

足元の業績推移について



- メニュー不正表示問題に関する情報開示前(H26年4月～7月)の既存店売上高前年比は101%と増収基調で推移していました。
- しかし、情報開示(8/14)後から8月第4週まで客数の減少が続き、既存店前年比は8%程度落ち込みました。
- その後は、曜日変動や天候の影響、また、「しゃぶしゃぶ祭り(イベント)」の中止などの変動要素を除くと、H27年1月まで8%減少のままほぼ横這いで推移していたが、足元(2月～4月)では若干の回復傾向が見られます。
- 木曽路以外の部門については、メニュー不正表示問題による売上高への影響はほとんどありません。
- 今期の業績予想は、足元の推移を勘案し既存店の売上高前年比100.3%と予想しています。

中期的経営方針①

(1) 経営の基本方針

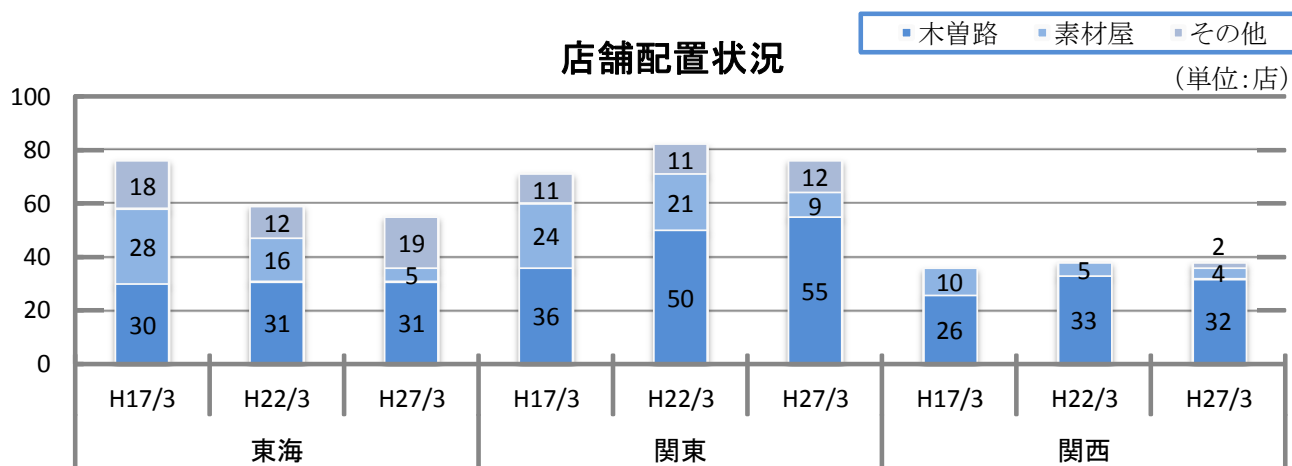
当社は、「よろこびの食文化の創造」を通じて社会に貢献することを経営理念としています。この理念の下に「食」の安全と品質を堅持しつつ、事業基盤の拡充と企業価値の向上に取り組みます。

(2) 事業基盤の拡充

当社は、しゃぶしゃぶと日本料理の「木曽路」、居酒屋の「素材屋」、和食レストランの「鈴のれん」、鶏料理の「とりかく」、焼肉の「じゃんじゃん亭」、ワイン食堂の「ウノ」および外販の7つの業態をもって経営しております。

平成27年3月末の部門別の店舗配置は、木曽路118店舗、素材屋18店舗、鈴のれん9店舗、とりかく10舗、じゃんじゃん亭8店舗、ウノ6店舗、合計169店舗です。また、地域別の店舗配置は大都市経済圏を中心に店舗網を形成しており、平成27年3月末では、東海地区55店舗、関東地区76店舗、関西地区38店舗です。

今後の店舗展開については、中核部門の「木曽路」を中心に店舗網を拡大しつつ、各部門それぞれに市場の変化や顧客ニーズの多様化に適合したビジネスモデルの再構築に努め、収益性の高い業態への投資を推進していく方針であります。また、地域的な展開については、東海地区の強固な基盤の上に立って、東海・関東・関西の各地区において出店のバランスを保ちつつ、事業基盤を拡充していく方針です。

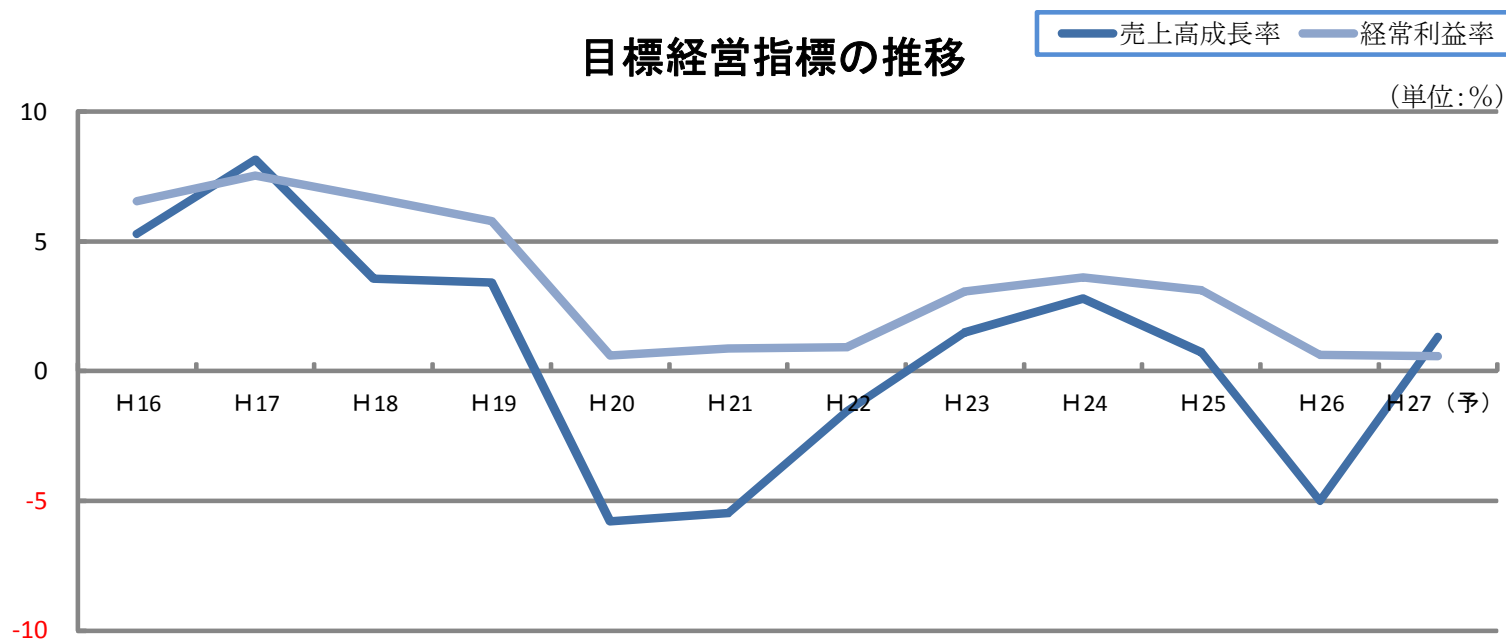


中期的経営方針②

(3) 企業価値の向上

当社は適切な成長性と収益性の確保を通じて着実な業容拡充と企業価値の向上を図ることを経営目標としています。そのために、「売上高成長率」及び「売上高経常利益率」を目標指標とし、次のような課題に取り組んでいます。

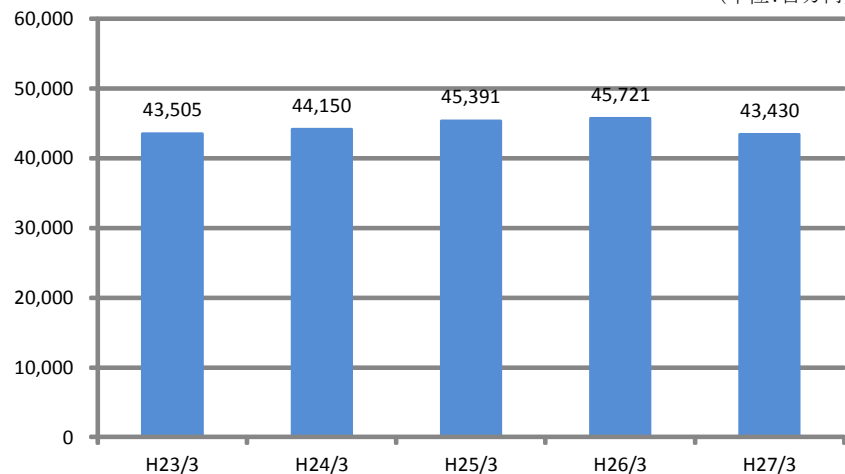
- ① 料理・サービスの安全・安心と高品位を堅持すると共に、業務の監視体制、コンプライアンス教育を強化し、顧客・社会の信頼に応えます。(信頼性)
- ② 新規出店と新事業の開発を推進し、事業基盤を着実に拡充します。(発展性)
- ③ 社員の能力向上と経営資源の有効活用を促進し、経営効率の向上を図ります。(効率性)



業績の推移①

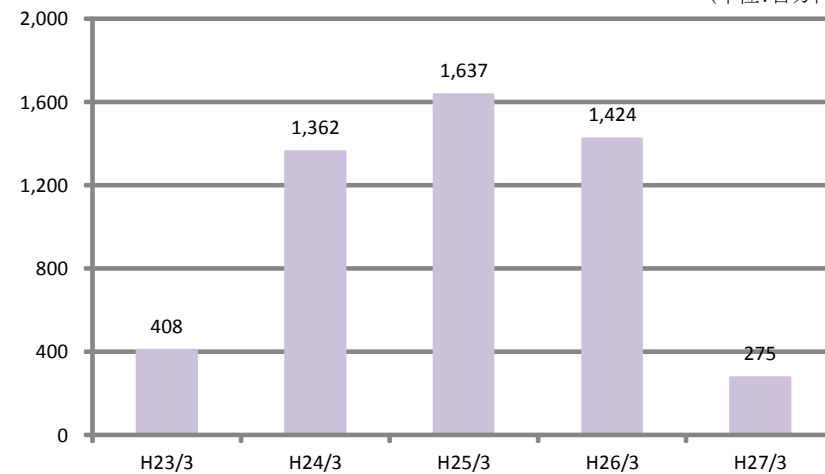
売上高

(単位: 百万円)



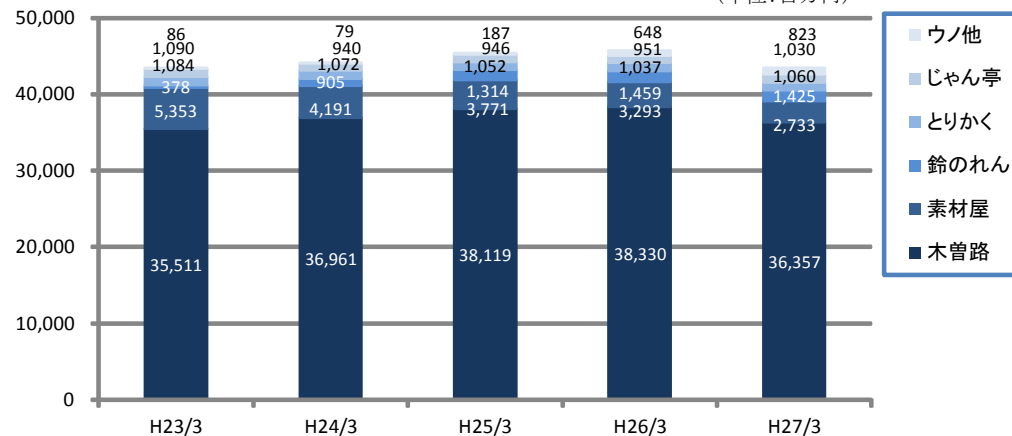
経常利益

(単位: 百万円)



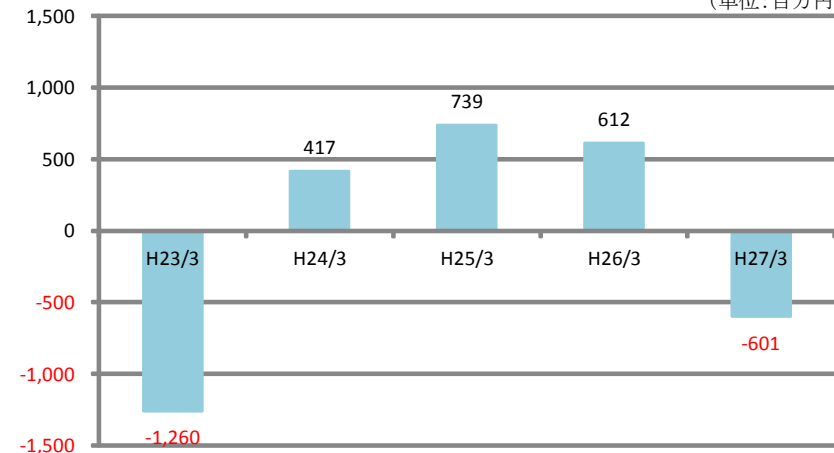
部門別売上高

(単位: 百万円)



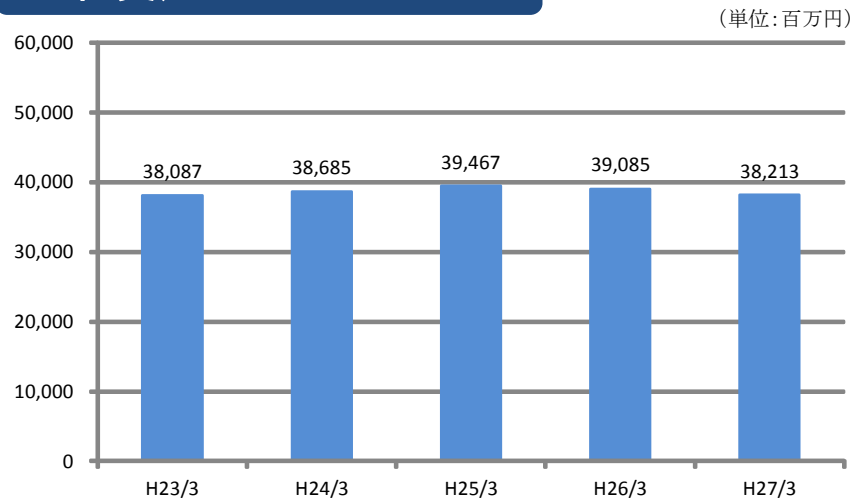
当期純利益

(単位: 百万円)

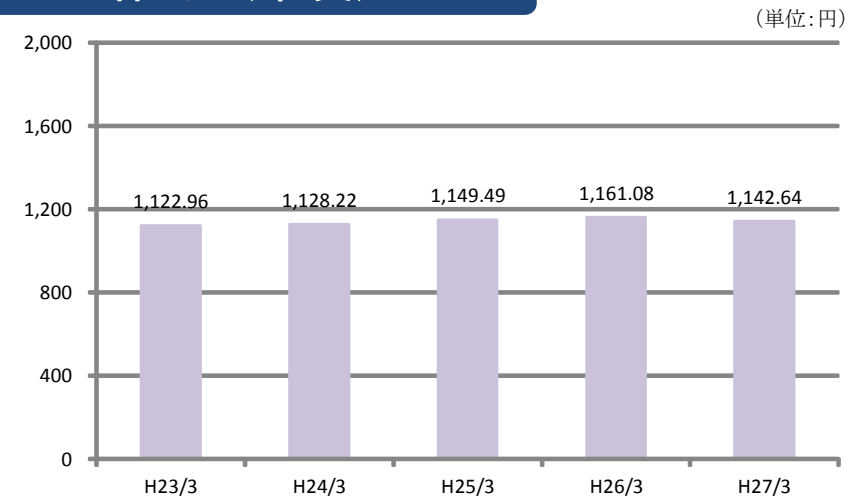


業績の推移②

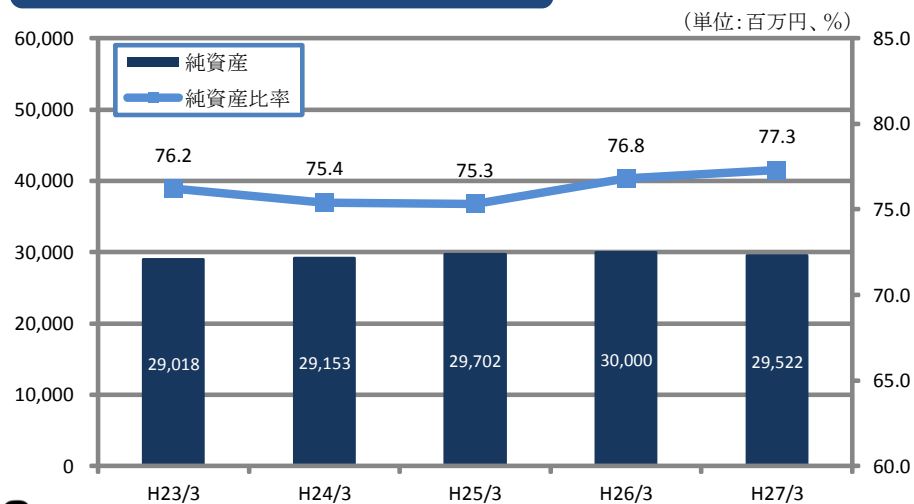
■ 総資産



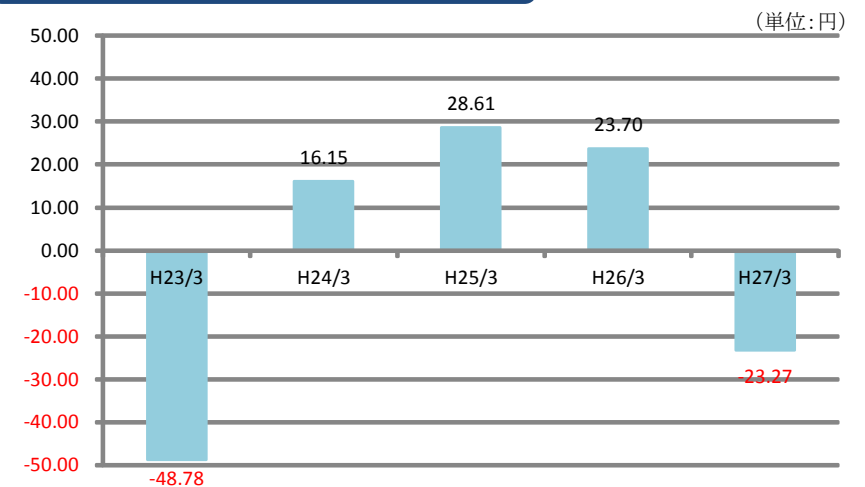
■ 一株当たり純資産



■ 純資産・自己資本比率

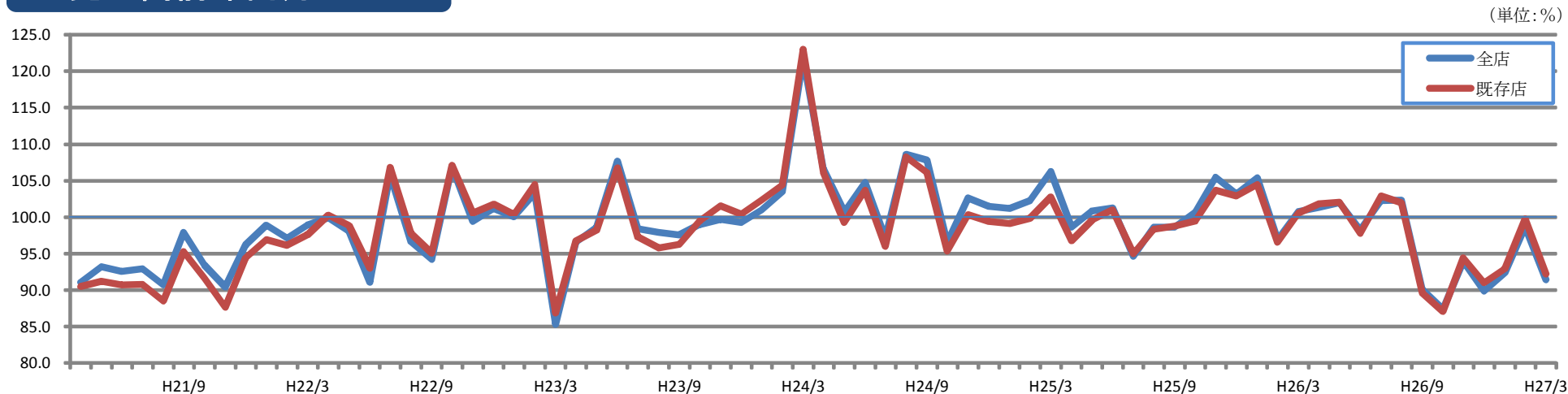


■ 一株当たり当期純利益

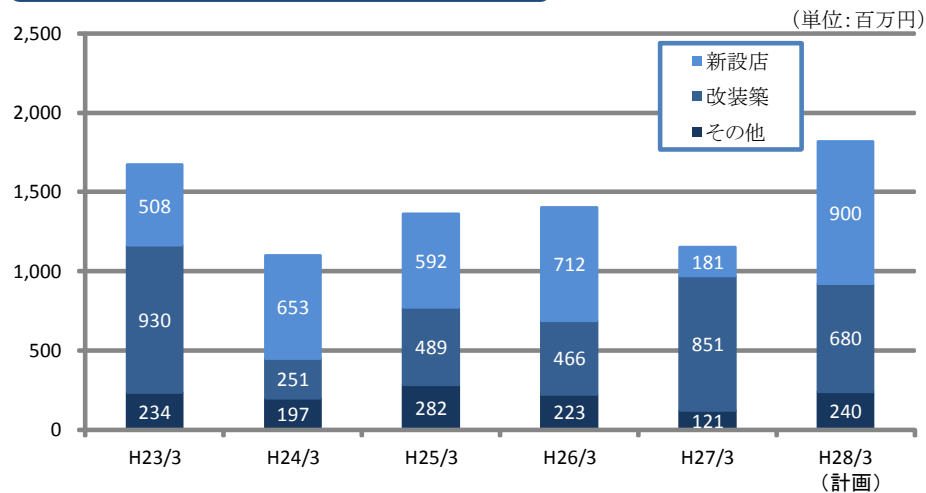


業績の推移③

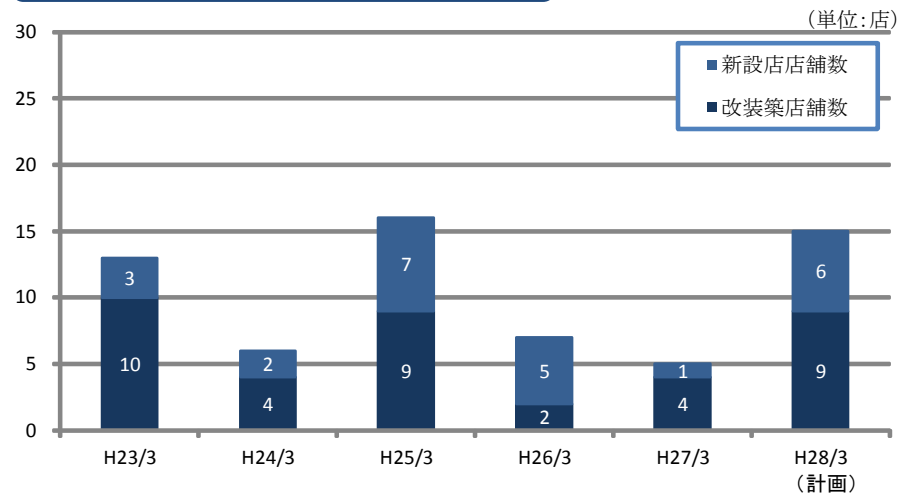
■ 売上高前年同月比



■ 設備投資推移



■ 店舗異動推移



第2部 会社説明

会社概要

■ 基本情報

会社名	株式会社 木曾路
英文名	KISOJI CO.,LTD.
創業	昭和25年5月
設立	昭和27年9月
売上高	434億30百万円(平成27年3月期)
資本金	100億56百万円(平成27年3月期)
本社	名古屋市昭和区白金三丁目18番13号
東京	東京都港区芝三丁目43番15号 芝信三田ビル4F
大阪	大阪府吹田市江坂町一丁目13番41号SRビル江坂3F
名古屋工場	愛知県大府市一屋町三丁目36番地
代表者	取締役会長 吉江 源之 取締役社長 松原 秀樹
従業員数	正社員 1,208名(平成27年3月31日現在)
事業内容	木曾路(しゃぶしゃぶ・日本料理) 素材屋(居酒屋) 鈴のれん(和食レストラン) とりかく(鶏料理専門店) じゃんじゃん亭(焼肉専門店) ウノ(ワイン食堂)
取引銀行	三菱東京UFJ銀行・名古屋銀行・愛知銀行・近畿大阪銀行他
ホームページ	http://www.kisoji.co.jp/

■ 役員一覧

地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役会長	吉 江 源 之	
代表取締役社長	松 原 秀 樹	
専務取締役	木 野 克 典	東京駐在
取締役	仲 沢 栄 一	内部監査室長
取締役	稲 垣 信 一	商品部長
取締役	松 岡 利 朗	人事総務部長
取締役	大 橋 浩	企画部長 経理部・事務能率センター担当
常勤監査役	松 岡 宏 昌	
常勤監査役	青 野 康 徳	
社外監査役	加 藤 正 樹	公認会計士 (株)ナ・デックス社外監査役
社外監査役	熊 田 登 与 子	弁護士



業態説明及び店舗配置

業態説明

	<p>創業以来、伝統の味を守りつづける「ごまだれ」と上質な和牛。洗練された空間で、心を込めておもてなしするしゃぶしゃぶと日本料理の木曽路は、木曽路グループを代表するお店です。</p> <p>ランチ 単価 : 3,000円 ディナー単価 : 6,000円</p>
	<p>旬・健康・産地・安さを基本コンセプトとし、季節性に富んだ手作りメニューと炭火で焼き上げる串焼きが自慢の居酒屋です。</p> <p>ランチ 単価 : 800円 ディナー単価 : 2,800円</p>
	<p>しゃぶしゃぶや旬の素材を活かした和食メニューを中心に、幅広い年代で楽しんで頂ける和食レストランです。</p> <p>ランチ 単価 : 1,500円 ディナー単価 : 1,900円</p>
	<p>蔵王土鶏を主に焼鳥や鍋料理、季節感ある一品料理をくつろぎの空間で提供する鶏料理専門店です。</p> <p>ランチ 単価 : 800円 ディナー単価 : 3,600円</p>
	<p>数種類のお肉を心ゆくまで堪能できるオーダーバイキング形式の食べ放題を全店で導入しております。鮮度と安さはもちろんのこと味が自慢の焼肉専門店です。</p> <p>ランチ 単価 : 1,700円 ディナー単価 : 2,600円</p>
	<p>世界各国のワインを、手作りの南欧風料理と共に楽しむ、賑やかでチョットお洒落な雰囲気のカジュアルワイン食堂です。</p> <p>ランチ 単価 : 900円 ディナー単価 : 3,200円</p>

店舗配置

総店舗数 : 169店舗
(平成27年3月末現在)

中部エリア (55店舗)

愛知県:48店 岐阜県:3店
三重県:3店 静岡県:1店

九州エリア (3店舗)

福岡県:3店

関東エリア (76店舗)

東京都:49店 神奈川県:10店
千葉県:5店 埼玉県:9店
茨城県:1店 群馬県:1店
栃木県:1店

関西エリア (35店舗)

大阪府:25店 兵庫県:8店
奈良県:1店 和歌山県:1店



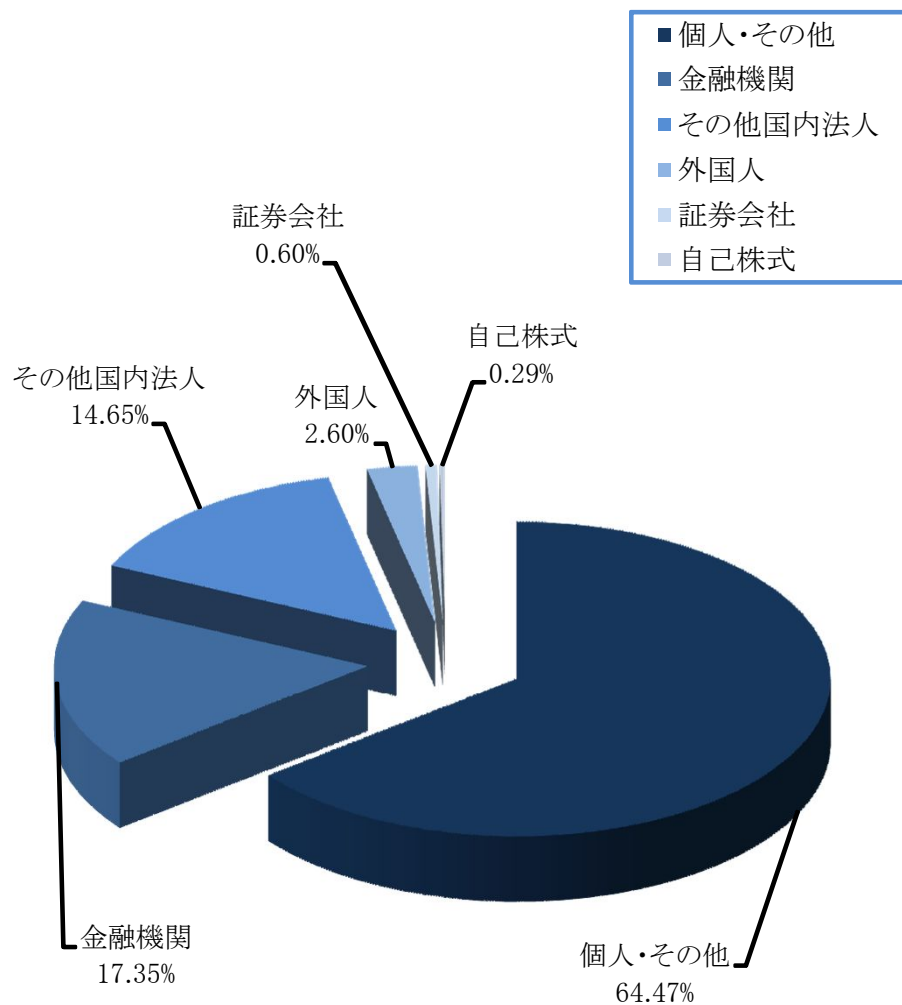
木曾路の歴史

年次	西暦	沿革	時代背景
昭和二五年	一九五〇	名古屋大須赤門通りにて「喫茶まつば」創業	戦後復興期 音楽喫茶の流行
昭和四一年	一九六六	民芸風しゃぶしゃぶ「木曾路」開業(瓦町店)	高度経済成長・東京オリンピック いざなぎ景気
昭和四六年	一九七一	ファミリーレストラン「地中海」開業(瓦町店)	外食産業の生成・発展
昭和四八年	一九七三	セントラルキッチン設置(名古屋市)	ニクソンショック 第一次石油ショック
昭和五〇年	一九七五	居酒屋「居来瀬」(現「素材屋」)開業(金山店)	第二次石油ショック
昭和五一年	一九七六	木曾路関東進出(銀座五丁目店)	外食の日常化・中食産業の萌芽
昭和五七年	一九八二	木曾路関西進出(北新地店)	グルメブーム
昭和六二年	一九八七	名古屋証券取引所上場	専門レストラン隆盛 3%消費税導入
平成元年	一九八九	木曾路九州進出(天神DADAビル店)	バブル経済崩壊
平成二年	一九九〇	素材屋関東進出(五反田店)	レストラン業界冬の時代へ
平成五年	一九九三	素材屋工場建設(大府市)	中食業態隆盛
平成六年	一九九四	セントラルキッチン移設	
平成七年	一九九五	焼肉「じゃんじゃん亭」開業(星崎店)	阪神大震災
平成八年	一九九六	ファミリーレストラン「地中海」撤退	消費税5%・金融危機
平成九年	一九九七	鶏料理「とりかく」開業(田町店)	外食産業は成熟段階へ
平成十二年	二〇〇〇	東京証券取引所上場	
平成一三年	二〇〇一	素材屋関西進出(伊丹店)	日本でBSE発生
平成十四年	二〇〇二	東京証券取引所・名古屋証券取引所 第一部銘柄指定	新道路交通法施行 健康増進法施行 米国でBSE発生
平成十六年	二〇〇四		鶏インフルエンザの発生
平成十七年	二〇〇五		牛トレサビリティ法(外食業)施行
平成十八年	二〇〇六	「木曾路」100店舗到達	愛知万博開催
平成十九年	二〇〇七	和食レストラン「鈴のれん」開業(相生山店)	新会社法施行
平成二十年	二〇〇八	名古屋工場 愛知HACCP認定	食品安全性問題多発
平成二十三年	二〇一〇		国際金融危機
平成二十四年	二〇一一	「鈴のれん」関西進出(東大阪店)	東日本大震災発生
平成二十五年	二〇一二	ワイン食堂「ウノ」開業(名駅3丁目店)	
平成二十六年	二〇一三	「ウノ」関東進出(五反田店)	消費税8%



株式情報①

■ 所有者別株式



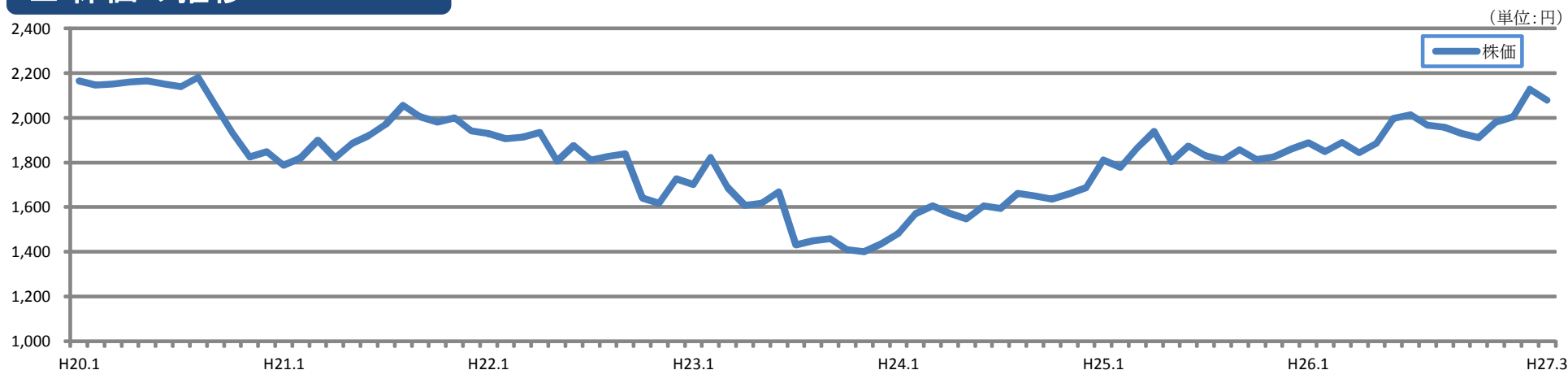
■ 地域別分布状況

	株主数(名)	株式数(株)	株式数比率(%)
北海道地方	15	9,905	0.03
東北地方	20	13,786	0.05
関東地方	6,792	10,982,101	42.37
中部地方	10,103	11,749,626	45.34
近畿地方	3,607	2,216,704	8.55
中国地方	69	65,200	0.25
四国地方	26	9,855	0.03
九州地方	246	151,514	0.58
国外	83	638,238	2.46
合計	20,962	25,913,889	100.00



株式情報②

■ 株価の推移



■ 投資単位

当社は、株主層の拡大と株式流通の活性化を目的として、平成15年1月6日をもって投資単位を旧来の500株から100株へ引き下げました。

その結果、平成27年3月末の1単元当たりの投資額は207,900円となっております。

■ 格付け

日本格付研究所(JCR)より平成26年10月16日付けで、長期発行体格付として「BBB」(ネガティブ)となりました。

【JCRリリース】

14年8月に公表した「木曽路」の3店舗でメニュー表示と異なる食材を使用していた不正販売問題による顧客からのイメージ悪化を受け、15/3期通期業績を下方修正している。当面、健全な財務基盤の維持は可能と考えているが、今後、宴会シーズンを迎える中で、売上高が回復しない場合には、収益力が一段と低下する懸念がある。さらに、再発防止に向けたコンプライアンス体制の構築状況を見定める必要もあり、格付は据え置きとしたが見通しをネガティブとした。

利益還元について

■ 利益還元

利益配分については、将来の事業展開に備え内部保留の充実に努めると共に、株主各位への安定した配当を維持することを基本方針としております。また、各期の収益状況や配当性向等を勘案して、増配や株式分割など株主への利益還元を積極的に行なっていく方針です。

■ 利益還元状況

期	株主還元	1株当たり配当金
平成3年3月期	株式分割 1 : 1.10	年14円
平成7年3月期	特別配当 1円	年15円
平成8年3月期	株式分割 1 : 1.10	年14円
平成9年3月期	株式分割 1 : 1.15	年14円
平成12年3月期	記念配当 2円	年16円
平成13年3月期	記念配当 5円	年19円
平成14年3月期	記念配当 5円	年19円
平成15年3月期	増配 1円	年20円
平成17年3月期	特別配当 2円	年22円
平成18年3月期	増配 4円	年26円
平成22年3月期	減配 4円	年22円
平成23年3月期	減配 8円	年14円
平成28年3月期		年14円(予定)



株主優待券のご案内

■株主優待について

毎年9月30日および3月31日現在の100株以上ご所有の株主様に、下記のような株式数に応じて「株主ご優待券」(弊社グループ全店で、お食事・お土産類・お中元商品・お歳暮商品・おせちにご利用できます。)を、6月の株主総会終了後と12月に贈呈いたします。

贈呈基準

100株以上	半期	1,600円	(年間 3,200円)
500株以上	半期	8,000円	(年間 16,000円)
1,000株以上	半期	16,000円	(年間 32,000円)

有効期限

3月31日現在の100株以上ご所有の株主様	翌年 6月30日
9月30日現在の100株以上ご所有の株主様	翌年 12月31日

株主優待券(見本)



株主メモ

■ 基本情報

決算期	3月31日
定時株主総会	6月開催
総会基準日	定時株主総会については、毎年3月31日とします。 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
配当基準日	3月31日及び9月30日
株主名簿管理人	(特別口座) 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	(特別口座) 名古屋市中区栄三丁目15番33号(〒460-8685) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (052) 262-1520
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	東京証券取引所、名古屋証券取引所市場第一部
証券コード	8160
単元株数	100株

■ ホームページのご案内

木曽路に関する様々な情報は
ホームページでご覧になれます。

最新のメニュー情報をはじめ、詳しい会社情報や
ニュースリリース、財務データ、IR情報などを
掲載しております。(H27年4月リニューアル)

URL : <http://www.kisoji.co.jp/>



「よるごびの食文化の創造」

お客様の感動が私たちの喜びです
日本一賞の高い外食企業を目指します

最新情報 2025.04.28 役員報酬増額等に関するお知らせ(PDF)

